



令和4年11月25日(金)

幼保連携型認定こども園 津田このみ学園 今在家分園

うさぎぐみだより 11月号

公園の落ち葉が赤や黄、オレンジへと姿を変え、ますます秋の深まりを感じる頃となりました。子ども達は、色とりどりの落ち葉や様々な形のドングリを見つけると、大切な宝物のようにそっと散歩バッグに入れて園に持ち帰っています。残り短い秋を子ども達と一緒に満喫したいと思います。

🍁 - 秋の宝物 - 🍁

子ども達は自分の散歩バッグを持ち、「今日も大きいドングリ見つけるぞ〜！」と意気込んで公園に向かいます。公園に着き、木のトンネルを通っていると一人の子どもが、「どんぐりころころ〜♪」と歌っていました。すると、それにつられてみんなで大合唱が始まります。

トウカエデを見つけた男児は「恐竜の足跡だ〜！」と興奮気味に教えてくれました。また、ドングリを見つけると大小様々な大きさのドングリを並べ、「パパとママと〇〇ちゃん。」と、自分の家族に見立てている子もいて、子ども達は公園で色んな発見をすることができました。園に戻り拾ってきたドングリでドングリ転がしをしました。「ころりんころりん」と言いながらドングリの転がる音を表現している子、1個だけを転がすと音が小さく、バケツごと一気に転がすと大きい音になるという音の違いに気づき、一度に転がす量を変えながら、音の違いを楽しんでいる子もいました。



保育士体験を終えて パート① ~あひるぐみ~

コロナ禍で日常の保育を保護者の方にみていただく機会が少ない中、11月上旬、本園あひるぐみの希望者の方に保育士体験をしていただきました。自分のお子さんの園生活を見学できると同時に、絵本の読み聞かせや散歩の引率の他、直接子どもに関わらない雑務などもお手伝いしていただきました。

エプロンの米粒とりのおかげで洗濯が楽にできていました。知らない間に助けられていました。

優しくあたたかくご指導くださった先生方をはじめ子どもたちの純粋なまなざしに支えられ貴重な体験ができました。

息子の友達との関わりが見られて安心しました。また先生方が明るく良い雰囲気子どもに接しているので、みんないい顔をしていました。

今日感じたことは、決して先生が子どもにベタベタするわけではなく「支え」になっておられると思いました。その距離感が勉強になり、親にしかできない「甘え」も大事ですが「支え」も今後の子育てに意識してみようと思います。

保育者・母・友達のおかあさんという、いろいろな立場で子どもに接することができ他にはできない経験ができました。ありがとうございました。



ギターを片手に子どもたちと歌を歌ったり、手遊びや絵本を読んだり、お家から事前準備をたくさん考えてきていただきました。保育者ではなく友達のお父さん・お母さんが披露してくれた遊びはとっても新鮮で保育者には出せない温かさを感じました。私たち保育者もお家の方のように、ぬくもりを感じられるような保育を心がけたいと思います。参加くださった方々、本当にありがとうございました。今後は今在家分園や三宅分園でも予定しています。